

会 報 第 7 号

ごあいさつ

委員長 村上 和夫

この度、宮城県壮年テニス連盟運営委員の一員に加えられ、また、はからずも委員長のご指名をいただき、当連盟の一端に参加させていただくことになりました。私にとりましてはいささか荷の重い大役でございますが、幸い業務に精通、熟達された諸先輩委員、幹事各位が周りにおられますので、精一杯、任務をはたしてまいりたいと存じます。

何事も先ず初めが肝心と申しますが、当連盟は、この3年間に、立派な基礎がつくられたと思います。これもひとえに前委員長の神吉先生、前副委員長の上山先生はじめ、これまでの委員、幹事の方々のご尽力の賜物と存じ、心から敬意を表する次第であります。

当連盟は、高齢化社会を迎えている今日の時代にあって、まことに有意義な組織であります。私達のこの連盟を、会員、委員が一体となって、さらに発展充実させていかななくてはと思っております。運営委員一同は、いろいろ工夫を凝らして、一層楽しい集いにするよう努力する所存であります。

会員の皆様におかれましては、どうぞ諸行事に積極的に参加され、連盟の活動をますます盛り上げて下さいますようお願い申し上げます。

* * * * *

◆平成元年度運営委員会

委員長 ☆村上 和夫
副委員長 新藤 英雄 ○広報、競技、庶務
運営委員 井沢 三幸 競技、庶務
伊藤 一利 ○会計、競技
☆小野 泰祐 競技、庶務
川口 温弘 ○競技、会計、広報
菅野 志津子 競技、会計
☆瀬野尾 秩 競技、会計
☆松山 真水 競技、広報
矢田 慶治 庶務、広報
幹事 大賀 延行 競技
高橋 龍夫 庶務、会計、競技
山内 宏 競技

(☆は新任、○は主任)

◆もくじ◆

	ページ
◆ごあいさつ 新委員長	1
◆宮城県壮年テニス連盟3大イベント	2
◆ビジター制度の導入	2
◆シリーズ「より楽しいテニスを」No.3	3
◆テニスなんでも質問箱	4
◆第6回委員総会	5~6
◆TOURNAMENT GUIDE	6
◆会員異動	7
◆WEEKDAY交歓会	7
◆平成元年度年間行事予定表	8
◆お知らせ	8

宮城県壮年テニス連盟 の

3大イベントに参加して
テニスを楽しみましょう

年齢別ダブルス大会

- [日時] 6月11日 9時開始
[会場] 泉総合運動場庭球場(松コート)
[種目] 男子:45歳以上、50歳以上、
55歳以上、60歳以上、
65歳以上
女子:40歳以上、45歳以上、
50歳以上
[参加料] 1,000円/人
[申込方法] 2名連記、当日の飛び入り参加は
出来ません。
[表彰] 各種目1位の組に優勝杯を授与し、
年末にプロカを贈呈

混合ダブルス大会

- [日時] 8月27日 9時開始
[会場] 青葉山公園庭球場
[種目] A,B,C各クラス(クラスは自己申告を建前)
[参加料] 1,000円/人
[参加申込] 2名連記、当日の飛び入り参加は
出来ません。
[表彰] 各クラスの優勝ペアには年末に記念品を
贈呈

技量別ダブルス大会

- [日時] 10月10日 9時開始
[会場] 青葉山公園庭球場
[種目] A,B,C各クラス(クラスは自己申告を建前)
[参加料] 1,000円/人
[申込方法] 2名連記、当日の飛び入り参加は
出来ません
[表彰] 各クラスの1位の組に優勝杯を授与し年
末にプロカを贈呈する

各大会の実施要領

- [試合方法] リーグ戦またはリーグ戦とトーナメント戦
との混合方式とする
[ゲーム] 参加者全員が楽しく同数のゲームが
出来るようにする

- [制 約] 前年度の優勝ペアはAクラスはペアを替
え、B,Cクラスは1ランク上のクラスになる
[案 内] ご案内はその都度事務局から連絡
する

★★ ★★ ★★ ★★ ★★

※ ビジター制度の導入

宮城県壮年テニス連盟では平成元年度よりビジター制
度を取り入れ、宮城県の内外にとらわれずより広く
テニスを愛好する人々の輪を拡げていくことになりま
した。

ここでいうビジター制度とは凡そ下記の内容を持つ
もので、・入会する前に当連盟の内容を知りたい人
達、・会員が会員外の人と組んで公式戦等に出場す
るための練習、・県外のグループで、交歓試合をした
いが、休日にコートの確保が困難な場合、あるいは、
・観光や仕事で来仙されたついでに親善テニスをして
みたいと考えた方がいる場合等々、より多くの方々
が気軽に連盟の行事に参加出来ることを目論んだも
のであります。運営委員会から県外の各テニス関係
者にこの旨をお知らせします。会員の皆様も積極的
にこの制度をご利用くださるようご案内申し上げま
すとともに、内容について改良すべき点をご指摘下
さるようお願いいたします。

宮城県壮年テニス連盟ビジター制度

†宮城県内に在住するか勤務地がある人でテニスを愛
し、年齢が連盟の条件を満たすならば、当連盟の
月例会、WEEKDAY交歓会にビジターとして参加す
ることが出来る。但し、会員の同伴または紹介があ
ることを原則とする。

†宮城県外の人でテニスを愛し、年齢が連盟の条件を
満たすならば、当連盟の月例会、WEEKDAY交歓会
にビジターとして参加することが出来る。この場合
参加する旨を前持って当連盟に連絡することが望
ましいが、当日の飛び入り参加も歓迎する。
複数での参加も結構であり、この場合には、臨時
の対抗戦も可能である。

†ビジターの参加料は会員の参加料と同一とする。

以上

「より楽しいテニスを」

高橋 龍夫

No. 3 【シンプル イズ ザ ベスト】

◆はじめに

「自分のテニスをより楽しくする方法は何でしょうか？」と聞かれた場合、私は「いま、自分の持っていないテニスの技術を少しでもいいから身につけることです」と、即座に答えることにしております。

テニスをする人たちに「何故テニスをするのですか？」という質問をしますと「健康のためです」、「美容のためです」、「多くの人達と親睦をはかるためです」、「そこにテニスコートがあるから」、「ストレスの解消になるから」、「ビールを美味しく飲むために」、「テニスをする事自体が楽しいから」等々いろいろな答えが返ってきます。私自身は最後の「楽しいから」という答えを最良と考えております。テニスをしていく汗を流しても楽しくなければ健康や美容のためにはあまりプラスにはならないでしょう。まして、ストレスの解消どころかでは無く反対の結果を招くことにもなりかねません。ビールの美味しさも半減してしまいます。テニスを始めたばかりの頃は、ボールを打った時のあの快音と手答えに何とも言いがたい快感を覚えられたと思います。ストロークを憶え、サービスが出来るようになり、皆さんと一緒にゲームが出来るようになりますと「テニスがこんなに面白いものだとは考えてもみなかった。もっと早くから始めれば良かった」という第1期夢中時代に入ります。沢山の人がゲームをして勝敗の面白さを憶え、テニスクールや講習会に参加してみたいと考える頃が第2期夢中時代です。これ等の第1期、第2期夢中時代の長さは人により長短様々ですが、この時代を終える頃からテニスに対してある種の「倦怠感」を憶え始めるのが一般的です。これが第1期倦怠期です。夢中時代ですと、庭に出て素振りをしたり、ラケットを拭いたりもしますし、翌日の天気や気になったり、朝、起きた時、雨や雪が降っていたりすると天を仰いで天気の様を怨んだりします。しかし、この倦怠期にはいりますと、「今日は風が少し強いから止めよう」とか「こんな寒い日に何を好きこのんでテニスなんか」とか理由にならない理由をつけてテニスをする回数が減ってしまいますあんなにも夢中になって楽しんだテニスがあまり楽しくないものになってしまう原因は何でしょうか。

「夢中時代」の楽しさの原因は未知なる物への初挑

戦と新しいテニス技術の会得にあったのです。未知なる物が既知なる物になり、テニスの技術的な進歩があまりなくなると感じ始めた頃に「倦怠期」の第1期が始まるようです。「もう歳だから、いくら練習しても巧くなれない」とか「運痴だからもう諦めた」という言葉が聞かれるのもこの頃です。

私は「テニスとは、精神的にも技術的にも非常に奥行きが深く巾の広いスポーツであり、適切な方法によりさえすれば、年齢に関係無く、程度の差はあっても、進歩は望みうるものである」と確信しております。また「適切な方法により進歩していることが自覚できた時に、前にも増してテニスの楽しさを覚えることが出来る」とも信じています。

「あなたは、全日本選手権もとってしまい、もうこれ以上自分のテニスに望むものは無いでしょう」と言われたりもしますが、私自身は決して今の自分に満足はしておりません。技術面のみならず精神面での未熟さを弁えているつもりですし、それ以上に自分のテニスをより楽しくし、「倦怠期」を迎えることのないように、自分にはない新しい技術の修得に邁進しようと考えているからです。

このシリーズでは「第1期倦怠期」を迎えている方だけに留まらず、「夢中時代」を過ごしていらっしゃる方々のやがて訪れる「倦怠期」のためにも、皆さんとご一緒に、われわれ壮年テニスにとって「適切」方法とは何かを模索して行こうと考えています。男女ともに「厄年」を越した頃から肉体的な衰えを痛切に感じ始めます。視力や聴力の衰えは眼鏡や補聴器で補えますが、テニスにとって大切な筋力(脚力、腕力等)や反射神経の衰えは器具や道具では補えません。最近流行の厚ラキや軽量ラケット等の使用により打つボールの威力を若干ではありますが増す事も可能ではありますが、これとて自ら限度があります。このような「肉体的衰え」というハンデキャップをもつ我々にとって、市販されているテニスの参考書に書かれている「テニス上達法」やテニススクールのレッスンでは現実とそぐわない箇所が沢山あることは明白です。このシリーズの目的の一つは「肉体的衰え人間(PH人間)のテニス上達法」を考えることにあります。読者の方々のご協力と忌憚のないご批判をお願いいたします。

【シンプル イズ ザ ベスト】 ストローク

その1 フォアハンドストローク

ストロークの話始める前に、グリップとスタンスについての

お話をするのが順序ですが、これらについては、数多くの入門書や参考書に書かれています。その内容は私の考えるものとはほぼ同じですので、後で述べることにします。

ストロークは、①テイクバック(ラケットを後方に引く動作)

②ヒッティング(ラケットを振り始めてからボールを打つまで)

③フォロー(ボールを打った後のラケットの振り)の3つの要素

とこれらを組み合わせるリズムが大切です。

ものの本によりますと、①については、8の字を描くようにラケットを引きなさい、あるいは、円弧を描くようにラケットを引きなさい、②についてはボールを打つまではグリップや手首の力を弛めておいてインパクトの瞬間に力を入れるように等と指導をしております。リズムについては、「一、構えて、二、ラケットを引いて、三、ボールを打って」という3拍子、カワのリズムを提唱していることが多いようです。これらの事柄は夫々に目的のある意味を持ち、決して間違ったことを述べてはいないと思います。将来、デ杯選手になるための練習をする人達や、肉体的発展途上にあるジュニアや学生プレーヤーとは多くを異にする私達PH人間がボールを打つ、しかも、試合中のテニスのボールを打つという場合に即しては最良の方法とは思われません。練習場のマシンやスクールのコーチが丁寧に繰り返してくる、一定の早さ、強さそしてリズムをもったボールを打つ方法としてならば別ですが。試合中で打たされる(好むと好まざるとに係わらず自分のコートに来たボールを打つのですから「打たされる」という表現が正しいと思います。) ボールは、スピード、強さ、高さ、回転、バウンド等どれ一つ同じものはありません。また、漠然とボールを打つだけではなく、相手のコートの特定な場所に、自分の意図する早さと高さを持ち、さらに回転をかけて打つという「一大事業」をやらされるわけです。しかし、この「一大事業」を完全に遂行することは不可能ですから、どこかで妥協をしなければなりません。相手に対して「もっと緩いボールを打ってくれ」「回転をかけないでくれ」等と、試合中には要求出来ません。自分が打ちたいと思うボールの諸条件(スピード、回転、高さ、角度、プレースト等)の数を減らすことになります。試合中に打つボールですから、必要にして最少限の条件があります。それは「プレースト」、狙った場所にボールを運ぶ(打つ)ことなのです。相手の打ってくるどのようなボールでも、狙った場所に打ち返せれば試合で負けることはありません。スピードも恰好の良い? 回転も必要はないのです。そうです。答えは「どの

ようなボールが来ても、そのボールを狙った場所に打ち返すが出来た確率の高いストロークを憶える」ことなのです。それでは、私達PH人間にとって、確率の高いフォルトストロークとは? 次号ではこの核心に触れて行きたいとおもいます。(一 ゴルフでも「練習場シグナル」と言われる人がいます。テニスでもこのような人を多く見受けます一 これがKEYの一つです。)

★テニスなんでも質問箱

★質問 質問者:S子さん 45歳 主婦

「先日、公式戦のダブルスの試合に出場した時のことです。相手は県内でも上位のペアであり、3セットマッチでファーストセットを2-6で取られてしまい、このままのペースで試合をしてしまうと簡単に負けてしまいそうでしたので、パートナーと相談して試合のペースを変えることにしました。二人でサービスまでさがりバックを多用し、打ちやすいボールが来た時だけ強打をしました。相手はこちらの高くあげたバックを強打し、ミスを繰り返しました。結果はセカンドセット、ファイナルセットを6-3, 6-1でとり、勝利を手中することが出来ました。

しかし、試合の後で、相手のペアや周り人達から「バックばかり上げたり、蠅のとまりそうな緩いサービスばかり打ったりしてきて全然面白くもなかった。あんな人達とは試合をしたくない」と非難されました。バックや緩いボールばかりで試合をしてはいけませんか? また、勝つために試合のペースをかえることは卑怯なことでしょうか?」

★快答・迷答・珍答・名答・愚答・解答★

「負けている試合を挽回する代表的な方法の一つは貴女方がしたように試合のペースを変えてみることです。速いボールを打ち合っていて負けてしまいそうならば緩いボールを相手に送り、緩いボールで負そうならば少し速いボールを相手に送ってやりましょう。バックを上げて相手のペースを乱すのも立派なテクニクなのです。蠅のとまりそうなサービスも結構ではありませんか。それで相手が打ち急いでミスをしてくれるならば、アンダーサーブですか? これもまた結構ではありませんか、いたずらにサービスをフォルトして相手にポイントを提供するよりは、中途半端なスピードボールよりは極端にゆるいボールの方が打ちにくいものなのです。蠅のとまるくらいの緩いボールを打つことはハイテクを要することなのです。* (7ページ 左下へ続く)

第6回委員総会

第6回(平成元年度前期)委員総会は3月25日(土)15:00より東北大学科学計測研究所中会議室で開催されました。会議の概要をご報告致します。

◆出席者 村上委員長

(クラブ等グループ代表委員)

飯野 雅(萩庭会) 井沢秀雄(アップル)
岡崎幸子(東北大職) 五島武雄(丸太沢TC)
酒井秀章、渋谷陽子、玉置雪江(以上南インターTC)
(運営委員)

井沢三幸、伊藤一利、小野泰祐、新藤英雄
瀬野尾秩、松山真水、矢田慶治
(幹事)

大賀延行、高橋龍夫、山内 宏

◆報告および協議事項

- ①委員長新任の挨拶があり、今後連盟の発展のために努力する旨の決意を述べられた。
- ②庶務報告(矢田委員) 前回の委員総会以降新入会員5名、退会者26名があり会員数は233名。
- ③競技会報告(新藤委員) 1/16, 2/11, 3/19それぞれ室内ダブルスを楽しむ会を実施した。3/19は当日に無断欠席者があったため赤字になった。
- ④広報(新藤委員) 会報6号が12/20に発行された。
- ⑤平成元年度競技会計画 別表の通り決定した。ただし4,5月は青葉山庭球場が使用出来ない所以他の庭球場の使用もある旨付け加えられた。
また、月例会やWEEKDAY交歓会に県内外のパテラフレーヤカビジターとして参加できることが了承された。
- ⑥会報発行計画 年2回、4月、12月に8頁のものを発行する。
- ⑦63年度決算 別掲の通り承認された。
- ⑧平成元年度予算 別掲の通り承認され、同時に年会費、3大イベントおよび月例会の参加料は据え置くがWEEKDAY交歓会の参加料は500円とすることが決められた。
- ⑨その他 各委員から次のような質問および意見が出された。
i 室内ダブルス3/19の赤字はき参加者の当日不参加によるものなので不参加者に対してペナルティを課はたらどうか。(前日または当日の朝電話連絡をしてもらうよう再度案内時に明記する。)
ii ビジターとして参加する場合の参加料はいくらか。
また、誰でもビジターとして参加出来るのか。(

参加料は会員と同額とし、県内ビジターの場合には会員の同伴または紹介を必要とする。)

iii ビジターには年齢制限はあるのか。(会員と同様
が望ましいが自称でも可)

iv 室内ダブルスの会は黒字になるように計画をする
のか。3/19の赤字分はどのように処理をしたか
(収支が合うように計画すねかボールの使用状況
で左右されることが多い。3/19の赤字分は年間
の競技会のトータルで処理をする。)

運営委員会はこれらの意見を参考に、今後の運営にあたることにした。

テニス・ルール

※ コーチング

--- チーム対抗戦をのぞきたいかなる試合においても
選手は他人からコーチングを受けてはならない ---
試合中にコートの外から「もっと初め!」「ファーストサーブ
を確実にいれて!」等と声を掛けることはコーチングと
みなされ その選手が失格になることもあります
からご注意ください

♠ TOURNAMENT GUIDE

♠ねんりんピック 1989 大分

テニス親善交流大会

[日程] 11月4日(土)~11月6日(月)

[会場] 厚生年金休暇センター

別府市営公園テニスコート

[参加人員] 1600名

各都道府県および政令指定都市の
代表チーム

[その他] 開会式 11月3日

交流親善試合の実施

「テーマ」健やか人生きらめく生命

宮城県および仙台市の予選会は6月
に開催の予定

★★ ★★ ★★ ★★ ★★

◆4月1日から

市営庭球場の申込方法

が変更されました

◆第1次受付(抽選)

利用日の前前月16日~末日までに往復はがきで
区の地域振興課に申し込む。

申込は1人、1区内、1施設、1利用日、コートとす
る。

希望日、時間帯(6時から2時間刻み)は第3希望ま
で認められる。

◆第2次受付(第1次受付の未利用分)

利用月の前月9日から先着順に行われる。

受付は区の振興課の窓口で行う。

電話、はがき等での受付はしない。

◆第3次受付(第1次申込のキャンセル分)

利用日の前月20日から先着順に行われる。

以下第2次受付に同じ。

♠郵便貯金

ミックスタブルス大会

[日程] 9月22日(金)~9月24日(日)

[会場] 泉パークタウンTC

[種目] ミックスタブルス

1部 一般

2部 男子(45歳以上)と女子(年齢制限
なし)のペア 16組

[参加資格] 参加資格に制限があります。詳細は
各新聞紙上の公告あるいは郵便局に問い合
わせ下さい。

♠日本VSスウェーデン

親善チャリティテニス大会

スウェーデンのデ杯選手を迎えて、下記のようにチャリテ
ニス大会が開催されます。

[期日] 10月15日(日)

[会場] 仙台市体育館

詳細は後日新聞等で発表されます。

テニス・ルール

※ウォームアップ

公式戦の場合、試合前に5分の限度を越えない範囲で、ウォームアップのための時間が与えられます。ウォームアップとはあくまでもウォームアップであり、決して、試合前の練習時間ではありません。なかには、ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブと一連の練習を行う選手もみかけます。時間内であれば、ウォームアップのためにストロークをしようかサーブだけしようかと両者の諍解があれば勝手ですが、時間を厳守し、ウォームアップ時間は練習時間ではないということをしつかりと認識しましょう。

♣会員異動 (3月25日までの受付分)

◆前号会報発行後、新たに次の方々が加盟されました。(加盟順)

氏名
大衛 壮
中原晶子
松野昭夫
大友まり子
奥村貞子

◆次の方々が退会されました。

(転勤)

加藤哲也、斎藤広子、中山八重子

(宮城県壮年テニス連盟規約第10条により退会)

大島茂彦 大島綱子 工藤東洋雄 工藤ガエ 田口景昌 田口京子 塚田光男 塚田尚美
支倉征一郎 支倉茂子 山田国男 山田孝子 佐々木信男 佐藤和達 志賀ちとせ 高橋長雄
高橋好子 田代 侃 千葉 浩 中館勝栄 西内四郎 藤島玲子 増田京三

以上の結果、会員数は233名(女性会員76名、男性会員157名、家族会員49組)となりました。

*ル・ポトとパワー溢れるゲームで放映されたり、これか近代テニスであるというような紹介が雑誌等でなされると、テニスはこうあるべきで、叩きばかり使うテニスは「キツイ」テニスで面白くないという人もいます。これはほとんどもない誤解であり、負け犬の遠吠えだと考えて下さい。

憶えておいでの方々もいらっしゃると思います。フィリピン代表杯選手でアポロンとデレロという二人の名選手がいました。昭和39年デビスカップ東洋ゾーン準決勝で日本とフィリピンが対戦した時のことです。当時、アポロンは44歳、デレロは38歳でした。これに対して日本勢は大学卒業間もない若くて好調を伝えられた石黒選手と渡辺選手でした。結果は大方の予想を裏切ってフィリピンの5-0という完勝に終わったのでした。アポロン、デレロ両選手の繰り出す緩くて長短を打ち分けたボールにすっかりペースを乱されてしまったと言われています。

一昔前の話でしたが、代表戦においても緩いボールが有効ですから、まして私達ベテランプレーヤーのテニスです、緩いボールでもミスの少ないテニスをして相手を苦しめ、勝利を手中にしましょう。試合に負けた後のボールと勝った後のボールの味の違いを素直に認め合ひましょう。ボールを打つのに〈キツイ打ち方〉〈キレ打ち方〉の区別はありません。

◇WEEKDAY交歓会

の毎月実施

会員の皆様のご要望により、平成元年度よりWEEKDAY交歓会は 毎月第2金曜日 10:00より15:00までの予定で開催いたします。会場は[年間行事予定表]どおり青葉山公園庭球場を主といたしますが、ご好意により、東北電力中山コートも使用させていただきます。すでにご案内いたしました通り、現在、青葉山公園庭球場が修理中ですので使用できません。したがって4、5月のWEEKDAY交歓会は下記のように県営宮城野原庭球場で開催いたします。ご注意ください。宮城野原庭球場は「時間借り」が出来ませんので、これら2回の交歓会は9:00より17:00まで1日コートが使用出来ます。充分にお楽しみ下さい。

※4月WEEKDAY交歓会 4月19日(水) 9:00~17:00

※5月WEEKDAY交歓会 5月10日(水) 9:00~17:00

参加料は今年度より 500円/人 となります。別途ご案内のビジター制度をもご利用下さい。今年度から経費節減のためWEEKDAY交歓会のためだけのご案内はいたしません。予定表通りに開催いたします。間違いの無いようにお集まり下さい。会場等の変更の場合はお知らせいたします。

平成元年宮城県壮年テニス連盟
年間行事予定表

宮城県壮年テニス連盟				東北、宮城県、仙台市テニス協会関係行事	
月	日	曜	会場	月	日
4	14	金	WEEKDAY交歓会	宮	
	16	日	月例会	宮	
5	10	水	WEEKDAY交歓会	宮	5 4~7 県春期トナメント(都市対抗予選) M45S,D M55D
	21	日	月例会	宮	25,26 桑名杯デイス大会
6	9	金	WEEKDAY交歓会	中山	6 10,11 県民大会
	11	日	年齢別ダブルス大会	泉	17,18 市民大会
					16,17,18 県シングルス選手権大会 M45S
7	14	金	WEEKDAY交歓会	青	7 1~3 国体予選 M45S,D
	30	日	月例会	青	8,9 ヤマハ杯東北ダブルス選手権 M45D,55D,W40D 山形
					8,9 県民大会
8	11	金	WEEKDAY交歓会	青	22,23 市民大会
	27	日	混合ダブルス大会	青	8 2~5 東北グランドテニス選手権 M45,50,55S,D,W40,45S,D
					18~20 東北三國体
9	8	金	WEEKDAY交歓会	青	9 2,3 朝日デイス県大会
	24	日	月例会	青	9,10 県選手権大会 M45S,D.
					30~10/1 ヨネックス杯東北シングルス大会 M45S
10	10	日	技量別ダブルス大会	青	10 24,25 県デイス大会
	13	金	WEEKDAY交歓会	中山	
11	3	金	女子連対抗戦	青	11 11,12 市民大会
	10	金	WEEKDAY交歓会	青	
12	2	土	懇親会		
12	~3		室内ダブルスを楽しむ会	キノ	1 県室内ダブルス選手権 M45,W40

会場：青～青葉山公園庭球場、中山～東北電力中山コート、泉～市営泉コート、宮～県営宮城野原庭球場

記号：M～男子、W～女子、S～シングルス、D～ダブルス、40,45,50,55～各年齢以上

WEEKDAY交歓会をのぞいて宮城県壮年テニス連盟の行事のご案内はその都度連絡申し上げます。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

★お知らせ★

★対女子テニス連盟定期戦は11月に

例年9月に開催されていましたが女子連との定期戦は、他の大会等の日程調整の結果、11月に開催することになりました。実施要綱につきましては後日お知らせいたします。

★いわきVTCとの親善試合は交渉中

昨年は、9月に、いわきVTCの20名(内女子7名)が宮城蔵王村サルトに来られましたが、雨のため流会となりました。今年度については、会場、期日等につきまして、いわきの方々と交渉中です。実施が決まり次第ご案内申し上げます。

★シルバー・テニス大会実施か

ねんりんピックの参加選手を選抜するために必要な参考資料をうるためのテニス大会(男女共60歳以上)が6月中に実施されるようです。主催者、会場、期日、試合形式等については検討中とのことであります。男女共に、平成2年3月31日までに60歳になれば出場の資格があるダブルスの試合のみの大会です。

ねんりんピックが毎年定期的に開催されますし、60歳以上のテニスプレーヤーの数も年々増加の一途にあります。県または市のテニス協会主催のシルバーテニス公式戦の開催が近いようです。